

▶▶ 沖縄県宜野湾市

未来を担う国際性のある若者を育成



宜野湾市では、基地返還後の跡地利用に向けて、国際的な視野を持って将来活躍できる人材を育成するための事業に積極的に取り組んでいます。これまで、市内中学生を対象に夏休み期間中のアメリカ留学を支援してきましたが、留学を希望していても、経済的負担を理由に留学を諦めるケースがありました。

そこで、希望する生徒に対し平等に留学の機会が与えられ、自己負担を求めずとも留学できるようにするための財源につ

いて、クラウドファンディング型のふるさと納税で募ることとしました。

寄附者に対しては、生徒の留学先での体験や研修などの様子を収めた報告書とともに、生徒からのお礼のメッセージを送付することとしています。



アメリカ留学先での様子



留学候補者選考のための英語ストーリーコンテストで1位となった生徒

注力した点や工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、留学候補者を選考するための英語ストーリーコンテストにおいて生徒がひたむきに取り組む様子や、生徒のコメントを紹介するなど、寄附者の共感が集まるように努めました。

Check

取組の効果

ふるさと納税を通じて全国から温かい支援が届けられたことで、留学希望者が増加するなど、生徒たちの学習意欲の向上につながっています。

クラウドファンディング型のふるさと納税で募集したことで、取組が報道機関に取り上げられたこともあり、市に対するふるさと納税は取組前と比べて2倍以上に大きく増加しています。ふるさと納税をきっか

けとして、基地の現状や基地返還後を見据えた市の努力等についての理解が広がることを期待しています。



有楽町駅前広場にて取組をPR



留学後の帰国報告会

寄附者の声



・中学生の皆さんがより多く留学でき、将来活躍されることを祈ります。

住民の声



・留学するチャンスを頂き、ありがとうございます。アメリカに留学したら文化などにふれて、英語が上達するように頑張ります。また留学の経験を活かして将来、宜野湾市で活躍できるよう頑張ります。(留学候補の生徒)